

AIMaP 研究集会等実施報告書

(Part 1) 名称・重点テーマ・キーワード等

項目	内容
名称	機能解析における数学的手法理解のために：数理分野と放射線科医の協働が織りなすハーモニー
採択番号	2017A000
重点テーマ	放射線医学と数理科学の協働
キーワード	放射線医学、シミュレーション、機能解析
主催機関	日本医学放射線学会（AIMaP への申請においては東北大学）
運営責任者	水藤 寛
開催日時(開始)	2017/09/10
開催日時(終了)	2017/09/10
開催場所	愛媛県松山市ひめぎんホール

(Part 2) 最終プログラム・参加者数

項目	内容
最終 プログラム	<p>日時： 9月10日（日）10:10～11:40</p> <p>会場： ひめぎんホール1階サブホール</p> <p>座長：村瀬研也（大阪大学・大学院医学系研究科保健学専攻）</p> <p>座長：植田琢也（誠馨会千葉メディカルセンター・放射線科/JST-CREST）</p> <p>水藤 寛（東北大学・材料科学高等研究所/JST-CREST）</p> <p>「JST戦略的創造研究推進事業CRESTを通じた医療者と数学者の協働」</p> <p>鈴木大慈（東京大学・大学院情報理工学系研究科/JST-さきがけ）</p> <p>「AIの現状、医療現場での適用への可能性、課題と限界」</p> <p>滝沢研二（早稲田大学・理工学術院/JST-CREST）</p> <p>「最先端のシミュレーション技術によって実現した計算の数々」</p> <p>太田 信（東北大学・流体科学研究所）</p> <p>「数理的手法を用いた高機能ステントの開発と評価」</p>
参加者数	数学・数理科学:5人, 諸科学: 約 100人, 産業界: 00人, その他: 00人

(Part 3) 論点・現状・今後の展開

項目	内容
当日の論点	数理科学・工学と臨床医学の協働の現状と問題点、及び今後の発展可能性
研究の現状と課題（既にできていること、できていないことの切り分け）	臨床医学の現場では様々な数理科学的手法が用いられているが、その前提条件が忘れられたまま適用されているケースもしばしば見受けられる。一方、医療現場のニーズが数理科学側に届いていないことも多い。一部ではそれを合致させることも実現してきているが、全体から見ればごくわずかにとどまっている。
新たに明らかになった課題、今後解決すべきこと	臨床医学の現場には、数学的な定式化を必要としている問題が多数存在していることを再確認した。また、数学・数理科学に対する期待は非常に大きい。これらに対して効果的に応えていくことが求められている。
今後の展開・フォローアップ	引き続き、臨床医学の現場から発せられる問題提起に応えるべく、取り組みを進めていく。また数理科学側からの情報発信を継続するため、今後も医学関係学会での特別企画の可能性を模索していく。

(Part 4) 写真

項目	内容
添付写真 1	なし
添付写真 2	
添付写真 3	